医療薬学Ⅲ

<table>
<tr><td>責任者・コーディネーター</td><td colspan="4">臨床医化学講座　那谷　耕司 教授</td></tr>
<tr><td>担当講座・学科(分野)</td><td colspan="4">臨床医化学講座</td></tr>
<tr><td>対象学年</td><td>4</td><td rowspan="3">区分・時間数</td><td rowspan="3">講義　15 時間</td></tr>
<tr><td>期　　間</td><td>後期</td></tr>
<tr><td>単　位　数</td><td>1 単位</td></tr>
</table>

・学習方針（講義概要等）

症状と臨床検査値に基づいて患者の病態を把握し、適切な薬物治療を考えることは臨床薬剤師にとって極めて重要なファクターである。医療薬学はこの能力を養成する上で必須な科目である。医療薬学Ⅲでは医療薬学Ⅱと並行して、骨・関節、皮膚、感覚器、アレルギー・免疫、腎・泌尿器系等の各種疾患について病理、病態に重点をおいて講述する。また医療薬学Ⅱと同様にこれら疾患の薬物治療、非薬物治療について概説し、個々の疾患の治療における薬物治療の位置づけについての理解を深める。

・一般目標（GIO）

骨・関節、皮膚、感覚器、アレルギー、免疫、腎・泌尿器系疾患について、正常の形態・構造と機能、臨床検査法、病理、病態、薬物治療、非薬物治療についての基礎的な知識を習得する。

・到達目標（SBO）

1. 骨・関節に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
2. 骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
3. 関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
4. 皮膚に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
5. アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
6. 皮膚真菌症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
7. 眼に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
8. 緑内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
9. 白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
10. 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
11. めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
12. アレルギー・免疫に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
13. アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
14. 自己免疫疾患（全身性エリテマトーデスなど）の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
15. 後天性免疫不全症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
16. 腎・尿路における代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。

・講義日程　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（矢）東 104 1-D 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
8/22	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	骨・関節疾患の病態と治療（１） 骨粗鬆症の病態と治療
8/29	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	骨・関節疾患の病態と治療（２） 関節リウマチの病態と治療
9/5	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	皮膚疾患の病態と治療（１） アトピー性皮膚炎の病態と治療
9/12	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	皮膚疾患の病態と治療（２） 皮膚真菌症の病態と治療
9/19	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	感覚器疾患（１） 眼疾患の病態と治療
9/26	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	感覚器疾患（２） 耳鼻咽喉疾患の病態と治療
10/3	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	アレルギー疾患の病態と治療
10/10	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	免疫疾患の病態と治療
10/17	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	腎・泌尿器系疾患 泌尿器系疾患の病態と治療
10/24	木	2	臨床医化学講座	那谷　耕司 教授	医療薬学の総括

・教科書・参考書等（教：教科書　　参：参考書　　推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	病気がみえる vol.６　免疫・膠原病・感染症（医療薬学Ⅱ教科書）	医療情報科学研究所 編	ﾒﾃﾞｨｯｸﾒﾃﾞｨｱ （定価 3,000 円）	2009
教	薬物治療学　改訂２版	吉尾 隆 他　編	南山堂 （定価 8,800 円）	2013

・成績評価方法

期末試験、小テスト、レポート、出席などから総合的に評価する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	iPad（Apple MC981J/A）	1	講義資料の閲覧